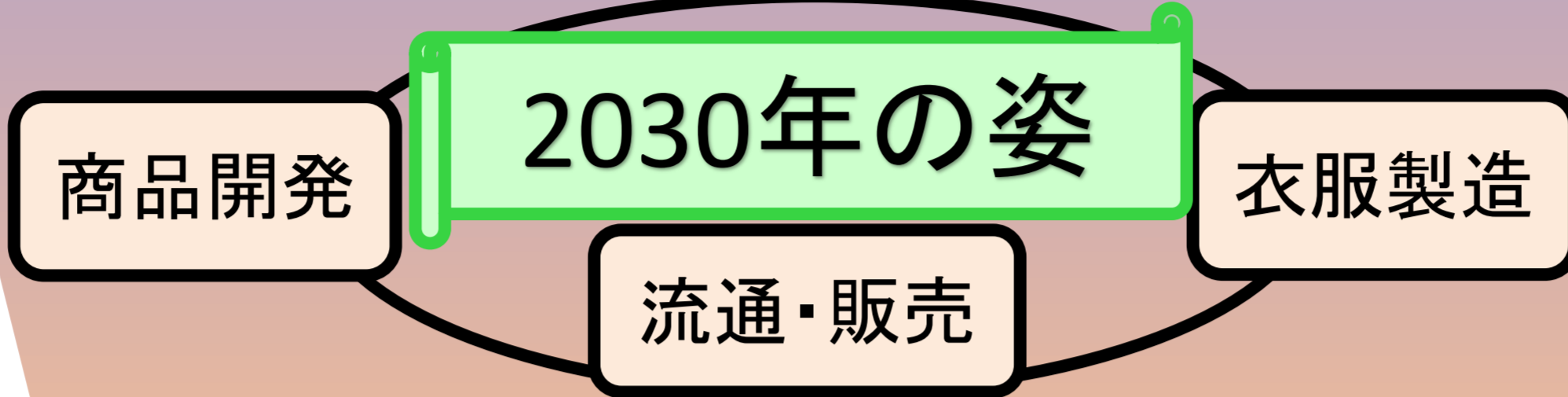


高 福岡県立香椎高等学校ファッションデザイン科

ファッション都市福岡

「ファイナルティスティーネーションプラン 2030」

人材の育成と雇用の創生



超スマート社会の実現

福岡県立
香椎高等学校

ファッション関連機関
(地場産業・行政・大学)

基礎・基本

財産・課題

コンソーシアム

地場産業
地域行政
地域大学
香椎高等学校
カリキュラム専門家
地域協働学習支援員

デザイン分野

環境

カラー分野

技能

English for fashion students

実践・実証

ネットワーク

素材・縫製
分野

探究活動

企画

縫製

人材

経営・
販売分野

目標

経理

販促

資源

経営

- ・福岡のファッション業界を担う人材の育成
- ・環境整備による雇用の拡大
- ・高等学校のブランド化と就職先の担保
- ・福岡のファッション業界の交流の場としての役割

販売

☆「福岡ファッションインキュベーター」☆

高等学校による課題解決策

地方公共団体・企業・大学による課題解決策

- ・教育課程を介した社会・世界状況の社会との共有
- ・地場を支える人材育成を社会と実現
- ・ファッション業界で求められる資質・能力の明確化

- ・バーチャルではない体験的な授業への支援
- ・人材派遣、資源の教育活動への提供
- ・実社会や世界規模のマーケティング体験を提供

ファッション都市福岡の課題

高等学校の課題

- ・デザイナーの東京一極集中
- ・縫製等の技術の海外流出
- ・採用環境の悪化
- ・雇用の拡大が生み出せない状況

- ・「社会に開かれた教育課程」の重視
- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・地域課題への体験と実践を伴った探究的な学びの必要性

ふりがな	ふくおかけん きょういくいんかい	ふりがな	ふくおかけんりつ かしい こうとうがっこう
管理機関名	福岡県教育委員会	学校名	福岡県立香椎高等学校

令和元年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 実施体制の概要

1 管理機関・学校の概要

(1) 管理機関名、代表者名

管理機関名：福岡県教育委員会

代表者名：城戸 秀明

(2) 学校名、校長名、研究を実施する学科

学校名：福岡県立香椎高等学校

学科：普通科 専門学科 総合学科

校長名：矢ヶ崎裕和

研究を実施する学科（プロフェッショナル型のみ）：

①単独学科での実施	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉
					○			
②学科連携による実施	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉

※学科には、総合学科における総合選択科目群を含む。

2 取組内容

- 本校が、福岡県、福岡市、地元大学、福岡商工会議所や地場産業と連携・協働することにより、ファッション界で新たな価値を生み出す基盤となる高度な資質・能力を持つ、地元ファッション産業を担う専門的職業人を育成する。
- 本校が核となり、福岡県、福岡市、地元大学、福岡商工会議所や地場産業等が協働で「福岡ファッションインキュベータ」を設立し、商品開発から流通・販売までを地域が一体となって、人的環境整備を行うことで、福岡を愛する高度な資質・能力を身に付けた人材が、福岡で活躍できる仕組みをつくり、ファッション都市福岡のムーブメントを作り上げる。

3 管理・運営方法

(1) 高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制 （一部調整中）

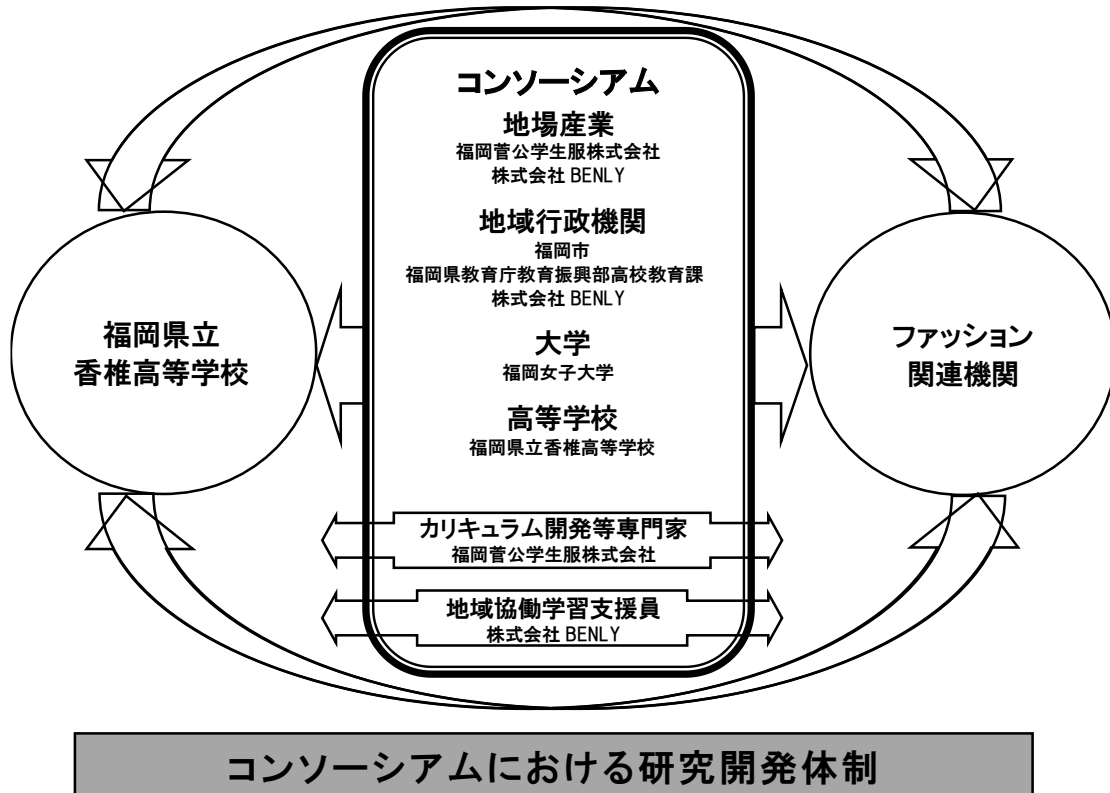
機関名	機関の代表者名
(一社) 教育ソリューション研究協議会 (※)	非認知的能力育成アドバイザー 長谷川 絵美
公立大学法人 福岡女子大学	教授 森 邦昭
福岡菅公学生服株式会社	常務取締役 小坂 健一
株式会社BENLY	執行役員九州エリア支部長 吉田 透
(一社) 進路指導・キャリア教育支援機構	教育顧問 西田 将浩
福岡市（担当部署調整中）	
福岡県教育庁教育振興部高校教育課 (○)	課長 田中 直喜
福岡県立香椎高等学校 (☆)	校長 矢ヶ崎裕和

(※)・・・コンソーシアムの代表機関 (○)・・・設置者 (☆)・・・高等学校

(2) 将来の地域ビジョン・求める人材像等の共有方法

コンソーシアムのメンバーが、それぞれの立場から意見を出しながら、専門的職業人育成を目指し、商品開発から流通・販売までの流れを発展的・実践的に学べる仕組みを検討するとともに、その内容を各団体で具現化させることで、福岡のファッション業界全体のムーブメントとして共有できる。

(3) コンソーシアムにおける研究開発体制



(4) カリキュラム開発等専門家（地域魅力化型・プロフェッショナル型）の指定及び配置計画

・公立大学法人 福岡女子大学 国際文理学部 国際教養学科 教授 森 邦昭 氏

3年次のブランド開発、長期インターンシップ等の生徒の地域貢献につながるカリキュラムの開発と、これらの科目に直接つながる1年次からの授業で、福岡のファッション業界の現状を捉え、実践的・発展的に学べる探究活動における横断的カリキュラムを開発する。大学は近隣にあるため、頻繁な打ち合わせが可能である。

(5) 地域協働学習実施支援員の指定及び配置計画

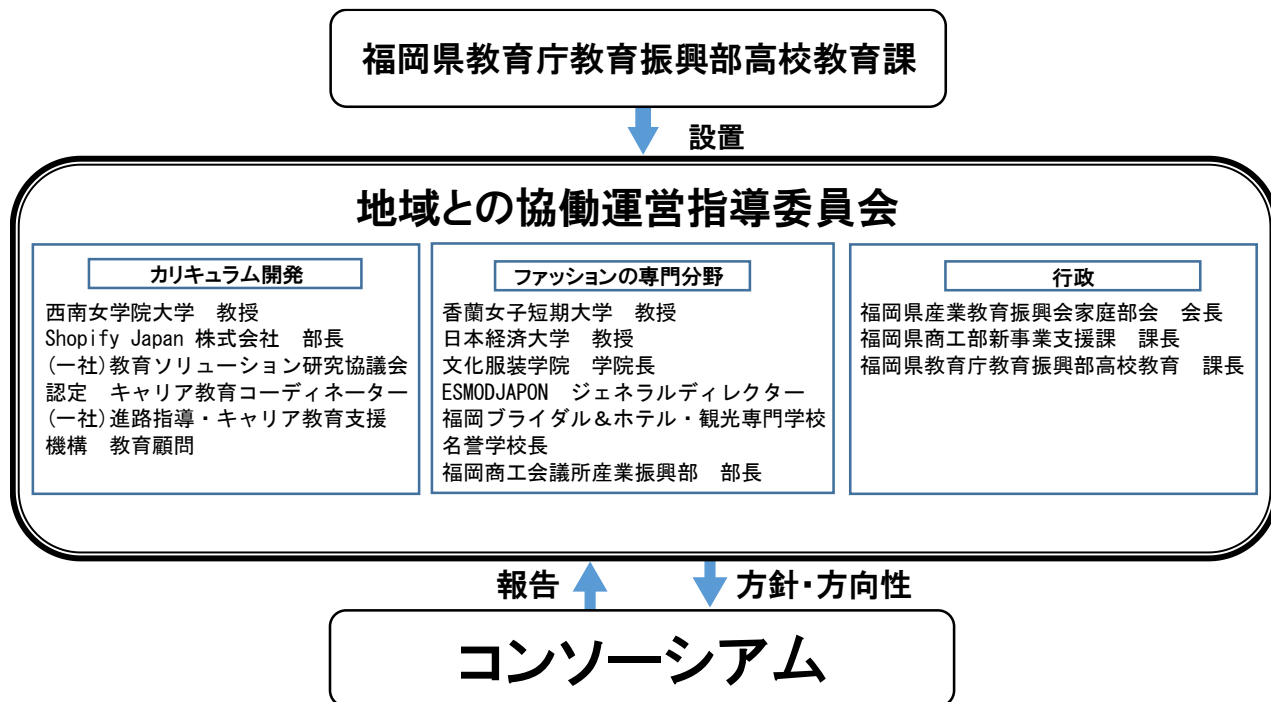
ア 福岡官公学生服株式会社 常務取締役 小坂 健一 氏

制服会社の常務取締役として豊富な企画経験を持つ。そのノウハウを生かして、授業実施時における外部講師との調整、商品開発から製造に関する探究的な学習活動のファシリテーションに関わる業務を担う。

イ 株式会社BENLY 執行役員九州エリア支部長 吉田 透 氏

数多くの地元企業や行政機関等との関わりが深い。コンサルティングのキャリアを持ち、そのノウハウを生かして、授業実施時における外部講師との調整、流通販売に関する探究的な学習活動のファシリテーションに関わる業務を担う。

(6) 運営指導委員会の体制



(全承諾済み)

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
坂元美貴子	香蘭女子短期大学 教授 ファッション総合学科長	学校教育外部有識者・ファッション
横溝紳一郎	西南女学院大学 教授 学生部長	学校教育外部有識者・英語教育
大塚知弘	日本経済大学 教授 福岡キャンパス事業推進部長	学校教育外部有識者・経営
相原幸子	学校法人文化学園 文化服装学院 学院長	学校教育外部有識者・ファッション
柿島由雄	ESMODJAPON ジェネラルディレクター	学校教育外部有識者・ファッション
桂由美	学校法人滋慶文化学園 福岡ブライダル& ホテル・観光専門学校 名誉学校長	専門分野有識者・ファッション
徳満泰彰	Shopify Japan 株式会社 パートナーシップ兼事業開発部 部長	カリキュラム開発・経営
三ヶ田浩二	(一社)教育ソリューション研究協議会 認定 キャリア教育コーディネーター	カリキュラム開発・キャリア教育
西田将浩	(一社)進路指導・キャリア教育支援機構 教育顧問	カリキュラム開発・キャリア教育
橋本輝夫	福岡県産業教育振興会家庭部会 会長	研究・広報支援
西岡潤史	福岡商工会議所産業振興部 部長	研究・広報支援
山北智子	福岡県商工部新事業支援課 課長	研究・技術支援
田中直喜	福岡県教育庁教育振興部高校教育課 課長	教育行政

(7) 研究成果報告・事業成果の検証に向けた計画

ア 研究成果報告

- ・全国サミットにおける報告
- ・福岡県、福岡市などの行政機関、Shopifyをはじめ各関連団体の情報誌やHPにおける発信
- ・ファッションビジネス学会への参画
- ・本校のホームページに研究成果の掲載
- ・福岡県高校生産業教育フェアにおける成果報告
- ・メディア等による広報活動における発信

イ 事業成果の検証に向けた計画

<1年目>

○専門的職業人の育成

- ・体験活動・実習における生徒の自己評価、アンケート調査
- ・ブランド開発における生徒の自己評価、アンケート調査
- ・製作販売した商品数の変化、売れ残った商品数の調査から商品開発力や消費者のニーズへの対応力等の検証
- ・商品のプロモーション映像のブラウザへのアクセス数の推移による検証

○「福岡ファッションインキュベータ」

- ・設立に向けた検討内容についてのアンケート
- ・連携・協働機関及び個人経営者のコンソーシアムへの登録者数
- ・各部署の事業検討内容についてのアンケート

<2年目>

○専門的職業人の育成

- ・1年目と同様

○「福岡ファッションインキュベータ」

- ・1年目と同様

<3年目>

○専門的職業人の育成

- ・2年目と同様

○「福岡ファッションインキュベータ」

- ・事業の実施件数、生徒の活動件数、販売実績、売り上げ実績

(8) 管理機関又はコンソーシアムによる主体的な取組・支援

管理機関は、人的配置や県の事業での支援を計画しており、福岡県、福岡市、大学、連携協力機関は、技術指導を含めた人的支援を約束している。

(9) 事業終了後の継続的な取組の実施に向けた計画

本事業で研究した内容を具体化している「福岡ファッションインキュベータ」を継続・発展することで、より多くの外部協力機関など多様な人材を巻き込みながら、経営を継続することとしている。

令和元年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 研究開発の概要

指定期間	ふりがな	ふくおかけんりつかしいこうとうがっこう					
令和元年度～ 令和3年度	①学校名	福岡県立香椎高等学校				②所在都道府県	福岡県
③対象学科 名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模	
	1年	2年	3年	4年	計	普通科 1年 320名 2年 317名 3年 351名 ファッションデザイン科 1年 40名 2年 37名 3年 37名	
ファッション デザイン科	40	37	37		114		
⑥研究開発 構想名	ファッション都市福岡「ファイナルディスティネーションプラン2030」						
⑦研究開発 の概要	商品開発から流通・販売まで一貫した流れを探究し、福岡を愛する高度な資質・能力を身に付けた人材を育成するとともに、業界全体で雇用や環境を生み出し継続可能な循環を図るため、行政機関、大学、地場産業等と連携・協働で「福岡ファッションインキュベータ」を設立する。						
⑧ 研究開発 の内容等	⑧ -1 全体	<p>(1) 目的・目標</p> <p>ア 目的 (ア) 行政機関、大学、地場産業と協働で、高度な技術を有するとともに、福岡を愛し、福岡のファッション業界を担う人材を育成する。 (イ) 福岡のファッション業界の商品開発から流通・販売までの還流を図る。</p> <p>イ 目標 福岡県、福岡市、地元大学、福岡商工会議所や地場産業などの産業界等と連携・協働することにより、産学接続型教育プログラムを開発し、グローバル化に対応した本校教育課程の高品質化を図る。</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p>ア 「福岡ファッションインキュベータ」を設立することで、学校が地元の外部協力機関と協働で経営し、福岡を拠点としたグローバル社会に対応した事業によるバーチャルでない体験的な授業を実施することは、日本で初めての取り組みである。</p> <p>イ プロフェッショナル人材に、直接指導を受けることで、マッチングミスを防ぐ新たなしくみとなると考えられる。</p> <p>ウ 地元の外部協力機関と連携し、校内に「福岡ファッションインキュベータ」を設立することで、生徒の地元産業についての理解を深めるとともに、生徒に将来の地元への貢献のあり方を考えさせることができる。</p>					
		⑧ -2 具体的 内容	<p>(1) 地域との協働による探究的な学びを実現する学習の実施計画</p> <p>ア 地域との協働による体験学習 地域のプロフェッショナル人材を招聘して、自分なりのものさしを築く「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」や、ファッション界におけるグローバルな活躍に向けて、ファッションに関する英会話力の向上を図る「ファッション版イングリッシュキャンプ」、ファッションデザインについてのテーマやコンセプトの考え方を学ぶ「デザインの発想に関する授業」を教科科目横断的視点で実施する。その上で、商工会議所や地場産業と連携・協働し、校内外でオリジナルファッションショーの企画・運営を行い、ビジネスの視点を身に付けさせる。</p> <p>イ ブランド開発実習 (ア) 準備 1・2年次には、地域のプロフェッショナル人材を招聘して、1年次に「ファッション産業に関する学習会」を実施、2年次には最先端の3DアパレルCAD</p>				

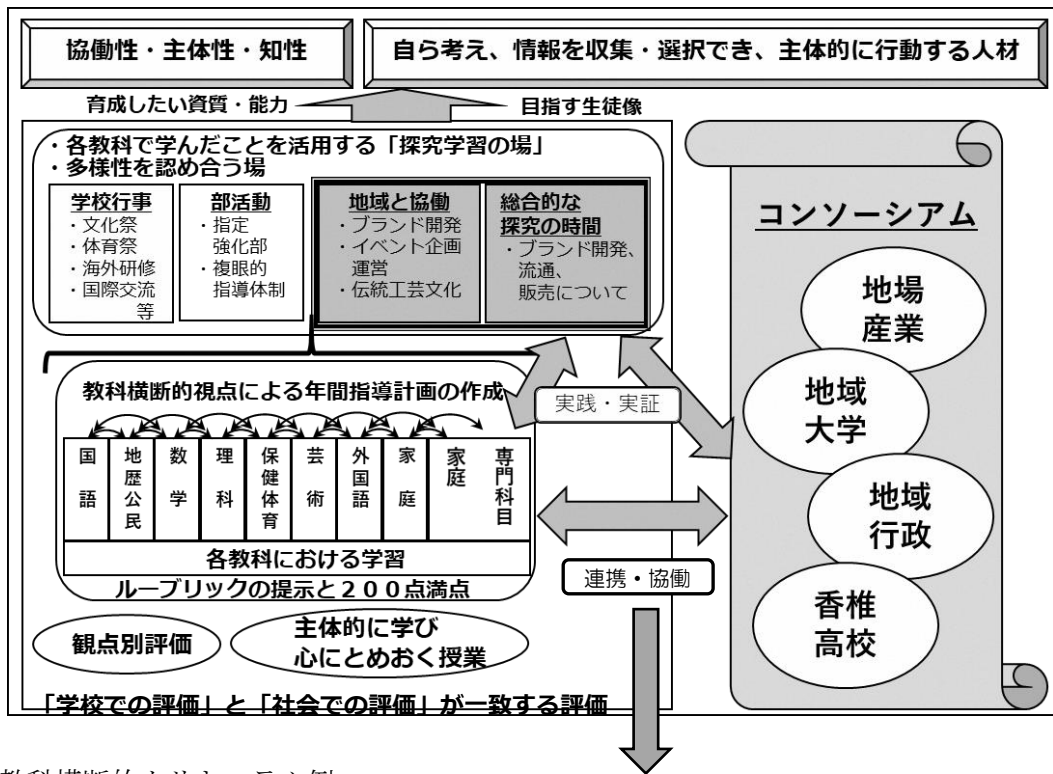
をはじめとする「情報機器を用いた活用」、生徒の関心や進路に合わせて地場産業を訪問・体験活動の「班別職業理解研修」及び「分野別班別学習」を実施する。

(イ) ブランド開発実習及び課題研究

「ファッションデザイン」（ブランド開発）では、「福岡ファッションインキュベータ」におけるブランド開発を行う。商品開発から流通・販売までのアパレル業界の流れを探究できるように、地域のプロフェッショナル人材から指導を受けながら、実際のファッション産業での企画・運営システムに従って実習をすすめることで、バーチャルではない真の実践を体験させる。

「課題研究」では、AFT色彩検定1級、サービス接客検定1級の資格取得や、「福岡ファッションインキュベータ」における地域のプロフェッショナル人材の指導による調査研究、地場産業への週一回のインターンシップを行う。

(2) カリキュラム・マネジメントの推進体制



教科横断的カリキュラム例

共通教科	現代文	×	専門科目	ファッションデザイン
(評論「和の思想・間の文化」)		(ファッションアイテムの考案)		
上記の評論学習後「和」を実現できるファッションアイテムの考案をさせ、発表させた。				
↓				
地域との協働 ブランド開発 (考案したアイテムを商品へ)				

(3) 必要となる教育課程の特例等

無し

⑨その他特記事項

無し